

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		526,526 円	1,027,300 円	804,598 円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	263,263 円	438,500 円	402,299 円				
	一般財源	263,263 円	588,800 円	402,299 円				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	くじら料理フェア提供店舗	毎年度 100 店舗	店舗	目標	100	100	100
					実績	58	35	38
				目標達成率 (%)		58	35	38
	②	鯨食文化の周知にかかる講演受講者	毎年 200 名 (イベント、学校等)	人	目標	200	200	200
					実績	300	200	70
				目標達成率 (%)		150	100	35

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		<div style="text-align: center;"> <p>必需 (+)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">●</td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>私益 (-) 公益 (+)</p> <p>選択 (-)</p> </div>		●	
		●				
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス				
(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響				
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>		(影響内容、程度等) 鯨食文化を子供たちに継承すること及び市民や観光客に鯨食の普及を図る機会が減る。 また、継続的に「鯨のまち長崎」を全国に向けて情報発信出来なくなる。				

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果（活動）指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った		料理フェア参加店舗数は前年度並みであったが、料理教室の実施開催回数が減少したため受講者数が減少した。	
	(2) 成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
実施予定 期 日	10月 11月	28年度は長崎ディステーションキャンペーンが実施されるため、例年実施している料理フェアに観光客を対象とした特典を付けるなど、観光客を呼び込む工夫を検討する。		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない			
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難				

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	長崎くじら食文化を守る会会長が所属する川島学園と引き続き連携し、市民と観光客それぞれにターゲットを絞り、効果的に「鯨のまち長崎」の普及を図る。				